

## 事故再現通し 衝撃や怖さ学ぶ

協和中で安全教室

【足利】スタントマンによる再現を通して事故の衝撃や怖さを学ぶ「スケアードストリート方式」の自転車交通安全教室が2日、協和中学校で行われ、全校生478人が緊迫する事故現場を疑似体験した。写真。

JA足利など4団体が主催。スタントマンが時速40キロの車と自転車の衝突や、3ストトラックの内輪差による巻き込み事故などを次々に実演した。



実演の間には、自転車の違反走行についても丁寧に解説。「無灯火はもちろん違反だが、点滅ライトも車から距離感がつかめず危険」「携帯電話操作や傘差しなどの片手運転は罰金対象」などと説明した。

3年新里凌輔さん(15)

は「衝突で人が吹っ飛ばす様子が衝撃だった」、3年影山琴音さん(15)は「巻き込み事故がショックだった。並列運転をしがちなので注意したい」などと話した。